

<一般社団法人りあん> × <トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社>

<排泄予測デバイス DFree による障がい児童の生活支援効果実証事業>

プロジェクト概要

背景/課題

- ・児童福祉施設では、障がいを持った児童の発達支援や親のサポートをしているが、通所している小学生の中には、自発的にトイレに行けない児童がおり、現在は施設職員や家族が児童の排泄のサポートを行っている。
- ・児童のより良い社会生活や施設職員や家族の負担軽減のため、児童がトイレの訓練を行い、排泄タイミングを把握して、自らトイレに行くことができるようになることが必要。

事業内容/期待効果

- ・トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社が開発した排泄予測デバイス DFree を活用し、児童の尿量を把握することで、排泄のタイミングの指導を効果的・効率的に行う。
- ・児童の自立的な排泄が達成できるか、またそれを通じて、職員及び家族の負担軽減につながるか検証する。
- ・高齢者向けの DFree が、児童に対しても有効に使用可能か確認し、同様の他施設での使用可能性を検証する。

事業イメージ(全体像)

